

平成24年3月11日の東日本大震災から1年数ヶ月が経過をいたしました。この間、個人・企業・団体の皆様から、物心両面にわたり、大変心温まる御支援を賜り、心より感謝を申し上げます。被災地は今、少しずつ復旧・復興に向けて着実な歩みを始めております。

さて、宮城県では、復興支援の一環として、「被災地を訪問し応援しよう」を合い言葉に、団体、企業の皆様を対象とした防災教育関連の旅行プログラムをご紹介します。よろしくお願いいたします。

単なる被災地の視察にとどまらず、震災の体験や教訓を後世に伝える語り部による被災体験談や被災地の視察ガイド、復興市や復興商店街でのお買い物、ボランティア活動などのメニューがあり、震災の実情や復興を実感していただけるものとなっています。

どうか、学びの場、企業活動の場、団体研修などでこのプログラムをご活用いただき、被災地支援の一環として、ぜひとも、東北、宮城にお越しいただきたいと思っております。皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

皆様のお力を借りながら、必ず、東北、宮城は復興してまいります。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

平成24年7月吉日

宮城県東京事務所長 菅原久吉

今こそ

# 宮城へ!

来マ! 見マ! 感じマ!  
応援して!



松島(仙台)

宮城県知事 村井 嘉浩

## 宮城の「今」を知る...

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、私達が住む宮城県は沿岸部を中心に未曾有の被害を受けました。現在では、各地で懸命の復興・復旧作業が進み、着実に「前」へ進んでいます。その宮城県の「今」の姿、「これから」の姿を是非見続けていただきたいと考えます。そして、そんな被害を乗り越えて生き抜いた人々から、今だから聞くことのできる「復興・復興への思い」「地域への思い」などの“心の声”があります。その“心の声”に耳を傾けていただくことで、訪れた人の心に何かしら変化が生まれるのではないのでしょうか。



## 「学びの場」・「CSR活動の場」としての東北

単に被災地を見て回るだけでなく、地震・津波の恐ろしさを語り継ぐ活動をしている人(語り部ガイド)から話を聞いたり、当時の避難所の生活について行政の担当者から直接話を聞いたり、また地域の為に先頭に立って活動している企業の経営者から直接話を聞いたりする事で、感じていただけること、学んでいただけることがあるはずです。また、復興のためのボランティア活動等も貴重な体験になるでしょう。この未曾有の大震災を風化させることなく、後世に伝え、そして次への備えとしていこうという趣旨に賛同いただいた皆様に、是非とも宮城県を訪れていただきたいと存じます。



## 震災の経験を語る活動

### 震災の経験等を語るガイドの紹介

沿岸各地では、地域の復興につなげようと各地の団体などが活動を再開しています。これまでの観光ガイドに加え、震災体験を語り継いでいくために、被災地(語り部)ガイドとしても活動しています。  
※一部有償での活動となっております。



観光ボランティアガイド気仙沼



ガイドサークル汐風(南三陸町)



石巻大震災まなびのガイド

## 県内の取り組み

宮城県内では実際に被災地を訪れていただき、東日本大震災の教訓を体感してもらい、人々が復興に向かって進む姿を見て、東北を応援していただけるように、各地で受入プログラムの取組がなされています。

### 多賀城のプログラム(例)



#### 多賀城市役所

こちらでガイドさんと合流、バスに乗り込んで出発します。また最後はガイドさんとこちらでお別れとなりプログラムは終了となります。

#### 震災DVD視聴(約20分)

市内周辺の会議室に移動後、震災時の状況を映像を見ながら振り返ります。終了後、希望販売で多賀城市内業者の物品販売がございます。

#### 震災講話(約20分)

ガイドさんに多賀城市の震災概要のお話と実体験に基づいた体験談をお話いただきます。

#### 多賀城市街地視察(約40分)

バスに乗りDVD視聴にあったショッピングセンターなどの市内の施設を視察いたします。

### 南三陸のプログラム(例)



#### ベイサイドアリーナ

町の復興拠点となっているベイサイドアリーナで「語り部ガイド」と合流します。

#### 「3・11震災写真パネル展」視察(約30分)

実際の震災を体験した語り部ガイドがベイサイドアリーナ内に設置された震災写真パネル展等を案内します。

#### 「3・11体験談(語り部プログラム)」(約60分)

ベイサイドアリーナの講義スペースにて「語り部ガイド」が震災の教訓を後世に伝えます。

#### 大きな被害を受けた志津川地区を視察(約60分)

「語り部ガイド」が同乗し、バス車窓から実際の被災地を案内します。その津波の破壊力に驚かされます。(写真は2011年10月現在の志津川地区)



途中、ホテル観洋にて「復興昼食」(約60分)  
ホテル観洋は震災からわずか一ヶ月後、断水が続く中で「復興の担い手である町民が外に流出することを防ぎたい(阿部女将)」と併設のレストランを再開し、2次避難先として被災者を受け入れてきました





## モデルコース ※旅行コースの詳細については、お近くの旅行会社にご相談ください。

### ●平泉と気仙沼



唐桑半島折石(伊達市)

日次	行程
1	東京 → 仙台 → 平泉・中尊寺 → 気仙沼(泊)
2	宿 → 気仙沼市内(震災の経験を語るガイドによる案内) → 気仙沼市内復興商店街 → 仙台 → 東京

東京を早朝に出発!世界遺産に登録された平泉の中尊寺等を見学し、気仙沼の宿泊先へ! 2日目は、津波による被害を受けた地域等を観光ボランティアガイドによる案内で見学。昼食は、気仙沼市内に開設された復興商店街で。

### ●石巻と日本三景松島



松島 五大堂(伊達市)

日次	行程
1	東京 → 仙台 → 石巻市内(日和山・工場地帯等を震災の経験を語るガイド付で案内) → 松島(泊)
2	宿 → 松島散策(瑞巖寺、五大堂等) → 松島 → 塩釜 → 仙台 → 東京

朝、東京を出発し、石巻市へ! 震災の経験を語るボランティアガイドの説明による案内を受け、松島の宿泊先へ。2日目は、瑞巖寺や五大堂等を散策したあと、遊覧船に乗船し、日本三景松島の島々を見学しながら塩釜へ向かいます。

### ●ボランティア活動と秋保温泉



秋保温泉(伊達市)

日次	行程
1	東京 → 仙台 → 仙台市内又は七ヶ浜町(NPO団体等とボランティア活動) → 秋保温泉(泊)
2	宿 → 仙台市内又は七ヶ浜町(NPO団体等とボランティア活動) → 仙台 → 東京

朝、東京を出発し、仙台へ! 仙台市内又は七ヶ浜町で継続的に活動しているボランティア団体に合流し、農地復興のお手伝いや浜辺の清掃等のボランティア活動をおこない、宿泊は仙台の奥座敷、秋保温泉。

## 宮城の宿泊

湯どころ宮城には多くの温泉地が点在しています!



### 松島

美景と歴史、そして海の幸。すべてを満喫できる。温泉もあり。



### 秋保温泉

市街地から約30分。伊達家ゆかりの仙台の奥座敷。歴史ある温泉街。



### 鳴子温泉郷

5つの温泉郷で楽しめる、9種類の泉質と豊富な湯量が自慢! 自然も満喫・満足できる。



### 作並温泉

広瀬川上流、山間に佇む温泉地。市街地から約40分。



### 遠刈田温泉

開湯400年、蔵王山麓の温泉地。刈田岳への観光に便利なほか、遠刈田こけしのふるさとでもある。

## 企業・団体の旅行を支える仕組み

### みやぎ観光復興支援センター

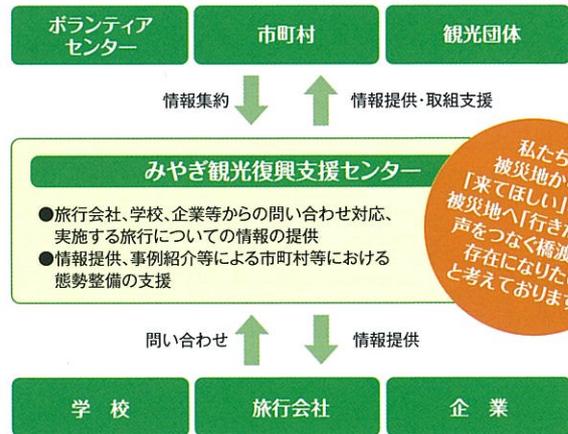
宮城県では、宮城県へのボランティアツアーの円滑な実施や震災の経験についての学習・研修を目的として宮城県を訪れる観光の支援を行っていくこととしております。

このため、宮城県では「みやぎ観光復興支援センター」を設置し、このセンターからボランティアツアーや学習・研修のためのプログラムなどの被災地の観光に関する情報を発信しています。被災地の観光に関する情報を知りたい企業・団体、旅行会社、学校などがございましたら、センターまでお問い合わせください。

#### お問い合わせ

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4階  
TEL.022-748-7380 FAX.022-748-7381  
E-MAIL:miyagikanko305@ray.ocn.ne.jp

※当センターは宮城県の「みやぎのボランティアツーリズム推進事業」として運営しています。



私たちは被災地からの「来てほしい」の声と被災地へ「行きたい」の声をつなぐ橋渡しの存在になりたいと考えております。